

ブリーザーからのオイル吸込みによる不具合

ブリーザーから多量のオイル吸い込み、排気側に多量のカーボンが付着し、ターボVGノズル部の固着、及びDPF再生不良等の不具合を引き起こします。ターボ交換前する場合、エンジンブローバイ量、燃焼状態の確認、アフタークーラー(インタークーラー)の確認、清掃をお願いします。 ※DPF堆積レベル高い場合や再生要求が頻発する場合は特に注意が必要です。

吸気入口オイル吸い込み



吸い込みにより
排気側に炭化物
が堆積する

排気側VNT機構炭化物堆積



VNTスライド部の引きずり

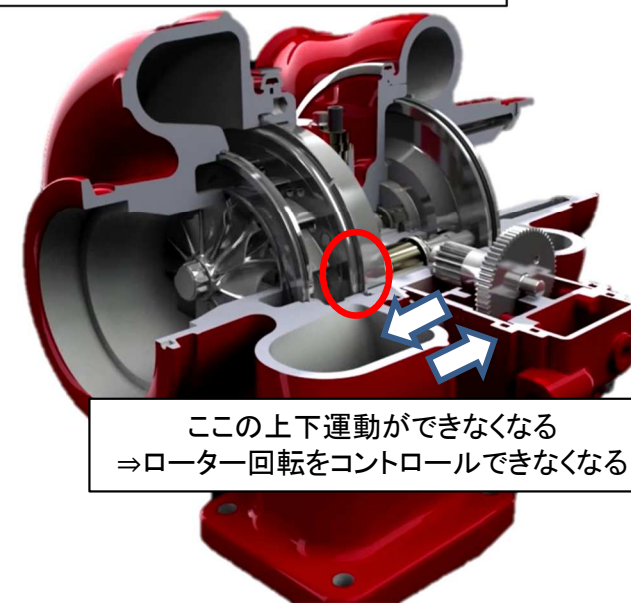
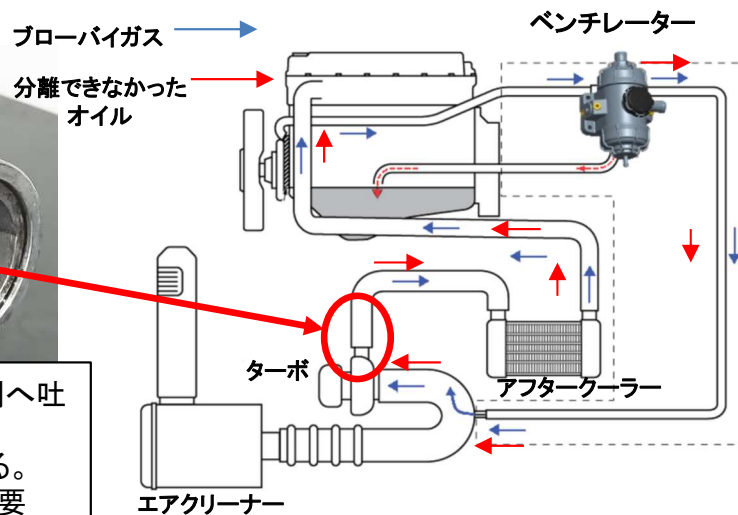


ターボ交換時に上記の様に吸気入口にオイルの吸い込みが見られる場合は、アフタークーラーの清掃を必ず実施ください。ターボを交換しても右の図のような固着を繰り返します。

アクチュエーターにより上下運動を行うノズル部。炭化物による引きずりの後が見られ、固着を起こしている。



吸い込まれたオイルが、アフタークーラー側へ吐出されている。
ベンチレーターが機能していない場合もある。
ターボ-エンジン間のオイルだまりの点検必要



この上下運動ができなくなる
⇒ローター回転をコントロールできなくなる